

群会議&ディーセントワークパブ プログラム

以下、毎回読んで確認しましょう！

1. ディーセントワークとは？

ディーセントワークとは…「子どもに教育を受けさせ、家族を扶養する事が出来、30年から35年働くで老後の生活を営めるだけの年金がもらえるような労働 (byILO)」、すなわち「働きがいのある人間らしい仕事 (by厚労省)」という意味です。2009年に国際労働機関 (ILO) 総会で21世紀の目標として決定されました。日本中、世界中の労働組合が「働きがいのある人間らしい仕事」を目指し、闘って学び、学んで闘っています。

・国際労働機関 (ILO)とは…世界中の労働者の労働条件と生活水準の改善を目的に1919年に作られた国連最初の専門機関です。

2. なぜパブ？

労働組合の発祥は、炭鉱労働者や建設労働者の集うパブ (居酒屋)。仕事が終わってから飲み屋に集まり、疲れを癒し、困った仲間がいたら助け合い、労働環境を良くするために仲間同士協力していく中で労働組合が生まれました。渋谷支部でも、同じ建設業で働く仲間同士交流しながら、安心して働ける業界にしていくために何が必要か、現場の声を集めるための居場所としてこんな名前にしてみました。

3. 東京土建が仲間と一緒に目指すもの

先輩達が歴史から学び育ててきた、組合の基本「東京土建綱領」を読み合わせしましょう。

4. 綱領を実現するために渋谷支部がやっている事

全ての支部が、群会議→専門部会議→執行委員会→分会執行委員会→群会議→のサイクルで運動を進めています。群会議代わりに位置付けられている、毎月発送される土建タイムと、町場・設計・野丁場の群別グループニュースを読み合わせしましょう (土建タイムと群別のグループニュースを読んで支部に返送すれば、1枚当たり500円が分会予算に入ります)。読むと、いろんな専門部が綱領を実現するための運動を展開している事が分かります。

6. 群=仲間の繋がりを復活させよう

組合員の仕事と暮らしを守るには、東京土建の基礎組織、群の仲間との繋がりを復活させて運動を大きくする事が一番重要。個人事業主や一人親方、法人会社で働く同じ群の仲間が、実は近所にいたりします。理想は、仲間同士でご近所挨拶が出来るようになる事。「このエリアの●●群の●● (仕事) をやってる●●です。これからよろしく!」と訪問しましょう。群会議&ディーセントワークパブのお誘いも忘れずに!

7. 自己紹介タイム

名前は知っているけどどんな人か分からない、という方もいるので、初めての仲間がいたら自己紹介をしましょう。

①名前、②職業と、**今月の交流テーマは「自分にとっての働く上での良い環境、理想の環境」です。順番に話し、必ず群会議報告書裏面に記入してください!**

8. 群で取り組む事を具体化する

さて、本題です。土建タイム・群別グループニュースも参考にしながら、自由にアイデアを出し合ひましょう! 分会によって特色が違います。せっかく作った働き方別の群です。同じ分会の仲間達と、どんな事をしましょうか。支部方針の具体化、名刺交換&仕事のネットワーク作り、イベント、研修、交流、地域での仕事おこし、防災…? 月々のサイクルを作って行きましょう。

9. 次回のお知らせ

群会議は毎月開催するもの。支部方針は、組合員1人+書記1人でも群会議成立です。来月の参加確認をお願いします。群役員だけでなく皆で誘い合わせて開催しましょう。

東京土建一般

東京土建一般労働組合は、戦前のたたかひの伝統をひきつぎ、建設労働者の生活と社会的地位の向上のため結成以来一貫してたたかひを進め、同時に大衆的、民主的、階級的労働組合の建設を掲げ奮闘してきた。

団結した力をもたなかった建設労働者は長い間、劣悪な条件のもとで労働を強いられ、その社会的役割にふさわしい処遇を得ることができなかった。

組合は結成直後に労働物資の獲得、税金闘争にとりくみ、50年代には日雇健保とけい肺法を制定させた。60年代には協定賃金運動を前進させ、集団申告、日雇健保探検制適用廃止反対に取り組んだ。70年代には国保組合設立、補助金増額のたたかひ、住宅デモ運動を開始した。80年代には随調市草政治とたたかひ、大手企業交渉を開始、消費税導入に反対した。その後、建設国保の10割給付を守るたたかひ、生活防衛闘争、地域建設業振興、東京建築力レゾ開校、どげん共済会設立などに取り組んだ。

組合はこのたたかひの中で、組合員の要求を基礎に、地域から大衆的に闘いを発展させてきた。

組合は、資本・国家権力からの独立、政党からの独立を堅持し、特定政党支持の立場をとらず、組合の自主性を確立し、組合の統一と団結を確のように大切にしてきた。そして組合員の政党支持、政治活動の自由を守ってきた。同時に、要求と政策の一致する政党・議員とは、その実現のためにもたたかひ、その組合の拡大強化をたたかひと車の両輪のように追求し、基礎組織を確立して組合民主主義を強化してきた。

組合は、運動の総括を重視し、「たたかひ」を通じて学び、学んでたたかひ実践的な教育学習活動を行ってきた。

大企業への利益奉仕と日米同盟に基づく国づくりに政治・経済・軍事などのあらゆる場面で進められ、日本は世界でも際立ったルールなき資本主義国になっている。その上、長い歴史のたたかひによって築き上げてきた平和と民主主義、社会保障と基本的人権、労働基本権などを破壊する政府・財界の攻撃が強まっている。

建設産業では政府・財界の大手建設・住宅資本優先の産業再編が進められ、低賃金・低単価の押し付けをはじめ、その痛みはすべて労働者と中小建設業者に押し付けられている。

大企業本位の政治・経済のしくみのもとで生まれている貧困と格差、社会的危機を解消し、平和と民主主義を守るためにも国民本位の政治・経済の民主的変革や国政の革新が求められている。

日本国憲法の平和主義と基本的人権、国民生活向上に向けた国民諸階層のたたかひの統一と団結こそ、要求実現と国政革新の力である。われわれは思想、信条の違いを超え、広範な国民諸階層の共同した運動の形成と発展に努める。

われわれは、労働組合が国民諸階層の運動の先頭に立ち、統一と団結の中心をはたすよう、労働者の一致した要求に基づく共同行動を、全国と地域ですすめる。建設労働運動の全国・地域での共同と発展に努める。

労働組合綱領

1 われわれは、賃金・労働条件の改善と建設労働者の権利確立のために、全国・地域・分野における労働協約の締結をめざしたたかひ。

2 われわれは、建設労働者の役割にふさわしい安定した生活と後継者を育成できる賃金の獲得をめざしてたたかひ。また、安定した雇用と失業にたいする保障、労働関係法規の完全実施と改善、退職金など労働条件の改善と確立、全国一律最低賃金制、週40時間労働制確立のためにたたかひ。

3 われわれは、職業病の根絶、現場の労働安全と労働衛生、労災補償の徹底と拡充を要求してたたかひ。

4 われわれは、政府・財界が進める大企業本位の国土開発計画、土地・住宅政策を国民本位に転換させ、すべての国民に「健康で文化的な生活がいとよめる住宅」の保障をめざしてたたかひ。

また、大資本の町場市場進出に反対し、住民本位のまちづくりを通じ、建設労働者・職人・中小建設業者の仕事と職域確保をめざしてたたかひ。

5 われわれは、日本の気候風土につちかわれた建設技術技能の継承と発展に努力し、国民の生活文化の向上に貢献する建設技術技能の向上と後継者の育成につとめる。

政府・使用者団体が費用を負担する建設産業全体の技能育成訓練制度の確立をめざす。

6 われわれは、建設労働者の命の綱「土建国保」を守り、国民が安心してかかれる医療制度の拡充を求めると同時に、年金、介護、福祉等の社会保障制度が「健康で文化的な国民生活を営める」権利である生存権として、真の社会保障の実現をめざしてたたかひ。

7 われわれは、消費税をはじめとする大衆増税に反対し、最低生活費非課税、応能負担原則の税制をめぐらしてたたかひ。

また、財政・税制および税務行政を国民本位に変革するためにたたかひ。

8 われわれは、建設労働者のくらしと健康を守る活動や仲間の助け合い・共済活動をする、自主的な「組合の生活保障制度」の確立など福利厚生と福祉の向上・発展のために活動する。

また、健全な文化・教養・スポーツレクリエーションなど文化活動をする、建設労働者の自主的な文化の発展と創造のために活動する。

9 われわれは、建設労働者の仕事と暮らしに根ざした共通の要求を土台に団結し、その要求を実現するために、産別個人加盟の居住地組織としての機能をいっそう発展させ、階級的自覚を高める教育・学習につとめる。

また、これらのたたかひのなかで建設産業の全分野で組合員を増やし、首都の建設労働者の多数派を組織する強大な東京土建の建設につとめる。このことを通じて、首都における建設労働者のたたかひの発展と労働運動の大衆的民主的階級的強化をめざす。

(1983年第96回大会で決定)

(2007年3月19日第60回大会で改定)

(2019年3月18日第72回大会で改定)